

第6次忌部地区地域福祉活動計画

2024年度 ～ 2028年度

—つなごろう 笑顔がつくる 福祉の輪—



忌部地区社会福祉協議会

はじめに

第5次地域福祉計画が令和元年からスタートしました。若い世代が集まり、新たなうねりを期待していた最中、新型コロナウイルスの感染拡大により、様々な活動がほぼ5年の間自粛せざるを得ない状況に見舞われました。特に「公民館行事」「すこやか交流会」などの活動がことごとく中止となり、それにより「人と人とのつながり」が希薄になりました。そのような中で、第6次の地域福祉活動計画策定が令和5年度から始まりました。

策定に当たっては、第5次の計画から実践評価をもとにすすめていくことが本来の形ではありますが、第5次計画は「福祉でまちづくり」の観点から、まちづくり全般にわたる非常に幅広い計画になっていました。そこで、有識者から策定方法や内容の見直しについての提言をいただき、13名の策定委員を選出し、作成にとりかかりました。

そして、理解し、わかりやすい表現で、誰からも見てもらえるような内容と形式をめざし、①「見守り活動」、②「居場所づくり」、③「交流と連携」、④「健康づくり」、⑤「学び・仲間作り」の五つの項目について計画立案していくことにしました。

スローガンに「つながろう 笑顔がつくる 福祉の輪」を掲げ、昔から「向こう三軒両隣り」のことわざがあるように、普段から小さなコミュニティの場を大切にしながらつながりを深め、笑顔で安心して暮らせる地域づくりがもっとも大切であることも確認しました。

今年3月、高校卒業後58年ぶりに再会した友人に「家族の絆」「20年間の闘病生活」の講演を依頼しました。認知症になった実母、義母の2人を28年間介護し、さらに、幾度となくおそってくる病を乗り越えた内容でした。その過程には、はかりしれない「絆」で結ばれた家族の姿があることを強く感じることができました。

私たちが住む忌部は、自然環境に恵まれた素晴らしい地域です。しかし、田畑の荒廃は年々すすんでいます。また、65才以上の高齢者世帯数は45%で、今後高齢化は加速していきます。だからこそ、小さなコミュニティの場を多くつくるのが大切であると考えられます。幸い忌部地区では、70数名の福祉推進員により、地域の見守り活動を推進していただいております。今後も推進員をはじめ、地域のひとり一人のお力が「チーム忌部」の渦となり、「みんなの声を聞き、アイデアを出し合い、笑顔あふれる地域づくり」を目指していきたいと思っております。

故郷の良さと住みやすさを共有できる地域づくり、そのためには、何をしたらよいかを世代間を超えて模索し、行動に移すことが求められています。この度の福祉活動計画が、その道標になっていくことを願っています。

終わりにあたり、この計画策定にあたってご協力いただいた策定委員の皆様を始め、ご指導を賜りました関係機関の皆様には厚くお礼を申し上げますとともに、今後の計画実施にあたり一層のご支援ご協力をお願いいたします。

令和6年3月 忌部地区地域福祉活動計画策定委員会
委員長 倉石明美

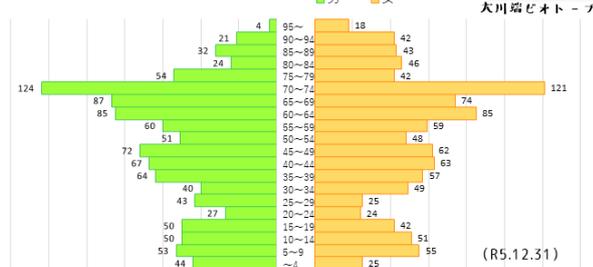
計画の概要（住民向けパンフレットより）

水と緑と花の里 忌部はこんなところ！

- ・人口(R5.12.31)・・・2,034人
- ・世帯数(R5.4.1)・・・656
(自治会加入世帯・・・574)
- ・自治会数・・・17
- ・要配慮者支援組織設置自治会数・・・11
- ・65歳以上のみの世帯数(R5.3.31)・・・295
(うち独居世帯・・・146)
- ・高齢者人口・・・723人
- ・高齢化率・・・35.59%
- ・年少人口(14歳以下)・・・261人
- ・忌部小学校児童数・・・127人



○忌部地区の人口ピラミッド



第6次忌部地区地域福祉活動計画

2024年度～2028年度

第6次忌部地区地域福祉活動計画が令和6年度からスタートします。第5次計画実施については地域の皆様にご協力をいただき感謝申し上げます。

この度の計画は「石臼」を基盤にしたイメージ図に表現しました。住民の未来を見つめ、みんなの意見を取り上げ、みんなで考え、手をとりあって「臼」を回す。そこから笑顔あふれる地域になるイメージです。皆様と共に住みよい忌部をつくりましょう。

スローガン「つながろう 笑顔がつくる 福祉の輪」



- ・地域住民の願い（みんなの声）を反映しましょう
- ・みんなでアイデアを出しあい、課題を解決しましょう
- ・笑顔いっぱい地域にしましょう
- ・支えあい、認めあい、助けあって、福祉の輪を広げましょう

— 忌部地区社会福祉協議会 —

こんなことをしていきます！

① 見守り活動

地域みんなで「笑顔であいさつから」
一声運動から始まる見守りの輪を広げましょう！



❁地域みんなで見守り活動

- ・社協だより、達者で暮らさやなどの手渡し配付、話しかけ
- ・子どもや高齢者などの見守り
- ・情報の共有化



④ 健康づくり

からだとなかよく、いっしょに笑顔で、健康づくりをしましょう！

❁すこやか交流会

- ・福祉推進員、自治会、担当者との連携
- ・健康体操を取り入れた交流会
- ・公民館を活用した交流会
- ・各地区敬老会の祝い会の企画

❁こうみんかん喫茶

- ・広報活動(諸会議、公民館、小学校ホームページ)
- ・夏休みに小・中学生を対象に実施
- ・ボランティアの拡大

② 居場所づくり

まずは顔を合わせ つどう ことから。
笑顔が次へ広がる、そんな居場所をつくりましょう！



❁小・中学校との交流

- ・高齢者の方々との思い出の2つづくり
- ・小学校の空き教室利用
- ・公民館サークル活動との連携

❁小学校の福祉教育、福祉活動

- ・フードバンク
- ・各種たよりを通したPR活動の推進
- ・地区内福祉施設との連携



③ 交流と連携

地域・家庭・学校が、手をとりあって、身近なところから福祉の輪を広げましょう！



⑤ 学び、仲間づくり

❁みんなで学びあいましょう

- ・福祉にかかわる研修、講演会
- ・社協だよりの発行

❁仲間を増やしましよう

- ・情報交換会、生活支援会議
- ・要配慮者支援組織
- ・若者の参加



第 6 次忌部地区地域福祉計画 策定までの経過

5月15日	第1回第6次地域福祉活動計画事務局会	}	・策定委員の選出 ・年間スケジュールの検討
6月5日	第1回第6次地域福祉計画準備委員会		
6月27日	第2回第6次地域福祉計画事務局会		
7月25日	第1回第6次地域福祉活動計画策定委員会	}	・第5次地域福祉計画の反省 ・第6次地域福祉計画の方針 決め、計画策定
9月8日	第2回第6次地域福祉活動計画策定委員会		
10月4日	第3回第6次地域福祉活動計画策定委員会		
12月13日	第4回第6次地域福祉活動計画策定委員会		
R6年		}	・住民広報用パンフレットの編集、作成
1月24日	第5回第6次地域福祉活動計画策定委員会		
2月7日	第6回第6次地域福祉活動計画策定委員会		
2月28日	第7回第6次地域福祉活動計画策定委員会		

★地域住民への周知方法について

幅広い年代の忌部地区住民に計画を周知するため、住民向けパンフレットを作成した。

(令和6年4月末全戸配付予定)

忌部地区の特徴

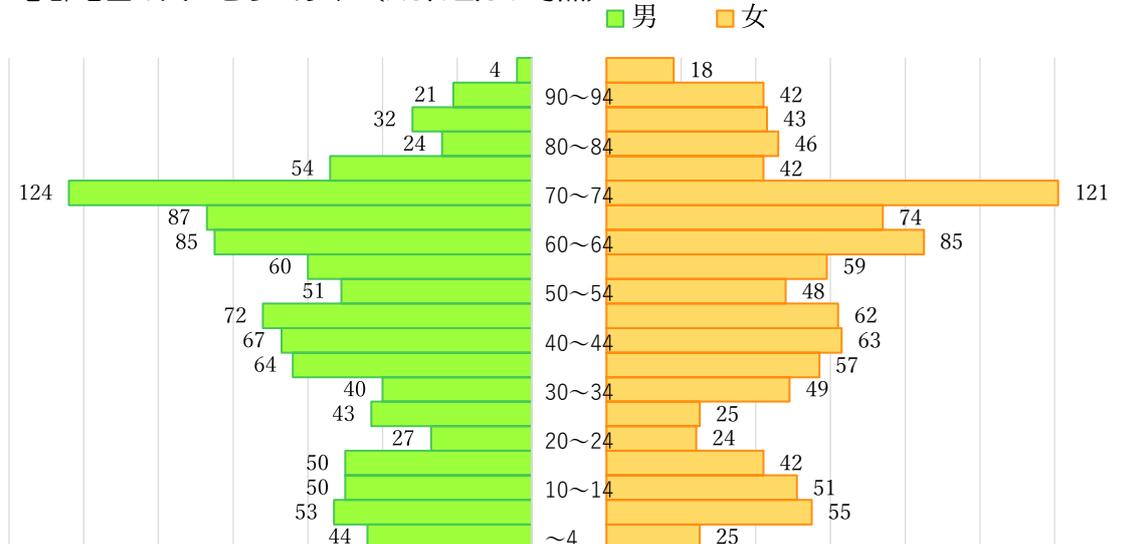
○松江市のみずがめである千本ダム、大谷ダム、四季を通じて見える形の異なる花街道、眺望絶景の空山など自然に恵まれた「水、緑、花、空」の地である。

○客ヶ丘、希望ヶ丘、千本つつじヶ丘などの団地の造成に伴い平成 12 年をピークに人口が増加。近年は上下水道整備、山陰道整備、田和山商業地造成などの利便性が図られ、市内外からの移住者が増えてきている。

- ・人口…2, 034 人
- ・世帯数…656 (自治会加入世帯…574)
- ・65 歳以上のみの世帯数…295
- ・自治会数…17
- ・高齢者人口…723 人
- ・高齢化率…35.5%
- ・年少人口 (14 歳以下)…261 人
- ・忌部小学校児童数…127 人



忌部地区の人口ピラミッド (R5.12.31 時点)



実施計画表

● 見守り活動 ー地域みんなで「笑顔であいさつから」 ー声運動から始まる見守りの輪を広げましょう！ー

活動名	目標	具体的な取り組み	区分	実施・協力団体
高齢者等の見守り活動	・高齢者世帯、一人暮らしの世帯、障がい者等の見守り活動の充実	・福祉推進員等により見守りを兼ねた「達者で暮らさや」、「すこやか交流会だより」、「社協だより」等の配布	継続	地区社協、福祉推進員会、民児協、自治会
		・年末の見守り（福祉推進員等により年末そばの配食時の見守り）	継続	
		・要配慮者支援組織設置地区の見守り活動の充実	継続	
		・降雪、災害時の高齢者等要配慮者宅に対する支援	継続	
	・買い物支援	・電話で注文できる店・配達する店、移動販売車等の一覧表作成	継続	地区社協、松江市、業者、輪の会、地区内福祉施設
		・助け合いセンター「輪の会」の活用	継続	
		・地元店舗の活用（AI デマンドバスを利用したの買い物を含む）	継続	
		・地区内福祉施設の利用（さくらの家弁当配達等）	新規	
		・AI デマンドバス利用促進と利便性の向上	・AI デマンドバスを利用したこうみんかん喫茶等の参加	
	・助け合いセンター「輪の会」の充実（輪の会の見直し）	・すこやか交流会での活用	新規	輪の会、輪の会運営委員会、地区社協、福祉推進員会、民児協
		・利用対象者の把握と宅周り等の状況把握	継続	
		・対象者のニーズ調査	継続	
	高年齢者の施設等利用	・高年齢者等が地元の施設の利用や入所しやすい環境づくり	・運営委員会の開催	継続
・地区内福祉施設と地域のつながりづくり			新規	
・忌部地区内でデイサービス、ショートスティができる施設の発掘			継続	

● 居場所づくり —まずは顔を合わせ つどう ことから。笑顔が次へ広がる、そんな居場所をつくりましょう！—

活動名	目標	具体的な取り組み	区分	実施・協力団体
すこやか交流会	・高齢者同士や高齢者とふれあう茶の間として開催し、認知症・閉じこもり予防、介護予防に繋げる	・各自治会の実情に合わせて実施	継続	地区社協、民児協、福祉推進員会、自治会、公民館、松江市
		・自治会全体での取り組み（福祉推進員を中心に連携し、楽しい企画）	継続	
		・すこやか交流会未実施の自治会への支援、働きかけ	新規	
	・学校との連携 子どもたちの思いやり、おもてなしなど豊かな情緒を醸成する	・小・中学生の参画によるすこやか交流会（各団体との連携）	継続	地区社協、民児協、福祉推進員会、自治会、公民館、小・中学校
こうみんかん喫茶	・気軽に立ち寄れる「こうみんかん喫茶」づくり	・PR活動	継続	地区社協、公民館、寿会、ボランティア
		・ボランティア組織の充実	継続	
		・夏休みを活用した小学生対象の「こうみんかん喫茶」の実施	新規	

● 交流と連携 —地域・家庭・学校が、手を取りあって、身近なところから福祉の輪を広げましょう！—

活動名	目標	具体的な取り組み	区分	実施・協力団体
小・中学生の活動支援	・小、中学生が住民とふれあうことや地域社会活動等を行うことにより、地域貢献、健全育成に努める	・花街道花壇づくりによる各自治会との世代間交流	継続	自治会、寿会、小学校、公民館、中学校
		・野菜づくり、花づくり、自然とふれあい活動、笹巻、餅、団子づくりへの協力	継続	
		・敬老訪問	継続	
	・小学校施設を活用することにより、世代間のつながりを深め見守りにつなげる。	・小学校の空き教室、空き時間を借りて、サークル活動やお茶会などを実施（年間数回程度）	新規	地区社協、福祉推進員会、自治会、公民館
	・福祉教育を通じた小学校との連携	・小さな輪の会の取り組み(小学校と福祉推進員・地域住民) ・小学校卒業プロジェクトへの協力 ・区内各施設との連携(さくらの家、まごころすずかけの樹)	新規	
	・読み聞かせ（朝礼時）	・読み聞かせボランティア（そらまめ）への協力	新規	
フードバンク	・フードバンク事業の実施を通して、忌部地区内外の住民との助け合いの意識を高める	・フードバンクしまね等の夏休み・冬休みの食品収集への協力	新規	

● 健康づくり —からだとなかよく、いっしょに笑顔で、健康づくりをしましょう！—

活動名	目標	具体的な取り組み	区分	実施・協力団体
健康忌部 21 推進隊 (健康寿命 の延伸)	・健康ウォーキングの実施	・多数参加ができる仕組みづくり	継続	公民館（保健体育 部）、健康忌部 21 推 進隊、地区社協、体育 協会、保健協力員、食 生活改善推進員、母子 保健推進員、小学校、 自治協会、民児協、福 祉推進員会、寿会、青 少協、自治会、松江市
		・忌部地区内外の早朝ウォーキングの実施	継続	
	・体操の励行	・フレイル予防の工夫	継続	
		・ラジオ体操、ずんどこ体操、まつえっこ体操等の励行（小学校交流等）	新規	
	・食生活と健康の意識高揚と実践	・生活習慣病予防など健康維持、増進に関わる学習、実践	継続	
		・食生活改善推進員による「食」に関わる指導の実施	継続	
	・健康診断・がん検診受診の推進	・保健協力員等により受診日前の広報活動	継続	
		・受診の重要性の広報活動の実施	継続	
	・総合的な健康づくりの意識高揚と実践	・健康フェスティバル等のイベントを開催し、総合的に健康を考える取組み	継続	
		・健康に関する総合的な研修と実践	継続	

● 学び、仲間づくり —みんなで学びあい、仲間を増やしましょう！—

活動名	目標	具体的な取り組み	区分	実施・協力団体
福祉に関する学習と情報の発信	・福祉に関する情報を発信し、周知を図る	・「社協だより」の発行	継続	地区社協、福祉推進員会
		・「すこやか交流会だより」の発行	継続	
		・終活等に関する研修・勉強会の実施	新規	
高齢者の緊急通報対策	・スマートフォンの使い方	・高齢者向けのスマホ教室の開催	新規	
要配慮者支援組織	・要配慮者支援組織の充実	・要配慮者支援組織未設置地区の立ち上げ支援	継続	地区社協、福祉推進員会、民児協、自治会
		・実施地区の要配慮者支援組織及び事業の充実	継続	
生活支援会議	・福祉に関する各地区の課題・問題点等情報の共有化と解決策の協議	・地域で支え合う体制の強化	継続	地区社協、民児協、自治協会、福祉推進員会、寿会、生活支援員、松江市
		・各地区の情報交換会での問題点・課題点整理	継続	
		・行政、市社協、包括支援センター、施設の相談員等関係機関との情報交換、解決策の協議	継続	
		・各自治会情報交換会の実施	継続	
相談業務	・関係者による相談業務、支援	・子育て情報誌の発行（子育て関係機関の紹介、斡旋）	継続	輪の会、公民館、松江市、市社協母子保健推進員、民児協、福祉推進員会、地区社協、公民館、ピアハウスいんべ地区社協、福祉推進員会、民児協、寿会、自治会、公民館、松江市
		・相談窓口（公民館等）の充実	継続	
		・地域がん患者・家族相談（ぴあハウスいんべ）の継続支援	継続	
		・市社協、市保健師、他各施設職員等関係機関による相談受付の機会（こうみんかん喫茶等）の充実	新規	
一人暮らしの会	・一人暮らしの人が集うコミュニケーションの場づくり	・一人暮らしの世帯の把握	継続	
		・一人暮らしの会（仮称）の設立に向け検討	継続	

こんなことをしていきます！

① 見守り活動

地域みんなで「笑顔であいさつから」
一声運動から始まる見守りの輪を広げましょう！



❁地域みんなで見守り活動

- ・社協だより、達者で暮らさやなどの手渡し配付、話しかけ
- ・子どもや高齢者などの見守り
- ・情報の共有化



④ 健康づくり

からだとなかよく、いっしょに笑顔で、健康づくりをしましょう！

❁すこやか交流会

- ・福祉推進員、自治会、担当者との連携
- ・健康体操を取り入れた交流会
- ・公民館を活用した交流会
- ・各地区敬老会の祝い会の企画

❁こうみんかん喫茶

- ・広報活動(諸会議、公民館・小学校ホームページ)
- ・夏休みに小・中学生を対象に実施
- ・ボランティアの拡大

② 居場所づくり

まずは顔を合わせ つどう ことから。
笑顔が次へ広がる、そんな居場所をつくりましょう！



❁小・中学校との交流

- ・高齢者の方々との思い出の場づくり
- ・小学校の空き教室利用
- ・公民館サークル活動との連携

❁小学校の福祉教育、福祉活動

❁フードバンク

- ・各種たよりを通したPR活動の推進

❁地区内福祉施設との連携



❁健康チェック

- ・気軽にできる健康チェック、けんしんの推進

❁健康教室

- ・フレイル、生活習慣病予防(食事、運動)

❁ウォーキング、ラジオ体操

- ・参加者の拡大 ・小学校とのコラボ

❁社会、地域活動への参加

- ・できる範囲で、無理なく出かけられる場づくり

③ 交流と連携

地域・家庭・学校が、手を取りあって、身近なところから福祉の輪を広げましょう！



⑤ 学び、仲間づくり

🍃 みんなで学びあいましょう

- ・福祉にかかわる研修、講演会
- ・社協だよりの発行

🍃 仲間を増やしましょう

- ・情報交換会、生活支援会議
- ・要配慮者支援組織
- ・若者の参加

